

作物栽培管理情報

令和8年9月号

大分県中部振興局 生産流通部 地域営農・水田活用班

水稻の病害虫防除

◎斑点米カメムシ類の防除

斑点米カメムシ類は、水稻の出穂後に成虫が圃場に侵入して穂を加害するとともに、成虫が産卵しふ化した幼虫による穂の加害により斑点米が発生します。

大分県病害虫対策チームは斑点米カメムシ類の発生が増加しているとして、令和8年8月7日付けで県内全域に注意報を発令しました。薬剤による防除は穂揃い期とその7～10日後の2回行いましょう。なお、防除後もカメムシの発生状況に注意し、必要に応じて追加防除を行いましょう（薬剤の登録内容に注意）。



カメムシ被害粒↑

◎トビイロウンカの防除

本田移植後に海外から飛来、9～10月ごろの第3世代になると急激に増殖、1株100匹以上になると坪枯れを引き起こします。

今年は、豊後大野市の予察灯においては確認されていませんが、7月6日に九州の一部の県で多数の飛来が確認されています。

今年度のトビイロウンカの防除適期は斑点米カメムシ類の防除適期にあたる8月下旬～9月上旬と予測されています。



株元に生育するウンカ類↑

トビイロウンカと斑点米カメムシ類との**同時防除が可能**なため、**両害虫の防除を実施**しましょう。

【カメムシ類、ウンカ類の防除薬剤】

薬剤名	使用時期	使用量/10a
スタークル粒剤	収穫7日前まで	3kg
スタークル豆つぶ		250～500g（ウンカ類） 250g（カメムシ類）
スタークル粉剤DL		3kg
スタークル液剤10		1000倍 60～150L

※粒剤と豆つぶ剤は出穂前に施用しましょう。

※薬剤ごとに使用時期、使用量をラベル等で確認し使用しましょう。



☆トビイロウンカ等防除技術情報

大分県農林水産研究指導センター農業研究部病害虫対策チームホームページ

<https://www.pref.oita.jp/site/oita-boujoshou/gijutujouhou.html>（左QRコード参照）で確認できます。

水稻の病害虫防除

◎ 紋枯病の防除

紋枯病は高温多湿により助長されるため近年の温暖化により、まん延しやすい環境になっています。
病斑は株元に発生し、発生面積を拡大した後、上位の葉鞘へ進展します。株元に病斑の発生が見られたときは防除しましょう。
昨年紋枯れ病が発生した圃場では今年も発生する可能性が高いので必ず防除しましょう。



← 紋枯病

紋枯病防除薬剤例（2026年8月12日時点での登録）

薬剤名	使用時期	使用量/10a	希釈倍率
モンガリット粒剤	収穫30日前まで	3～4kg	—
モンカット粒剤	出穂30～10日前 (収穫14日前まで)	3～4kg	—
ブラシンバリダ フロアブル	収穫14日前まで	60～150L	1000倍

※薬剤ごとに使用時期、使用量をラベル等で確認し使用しましょう。

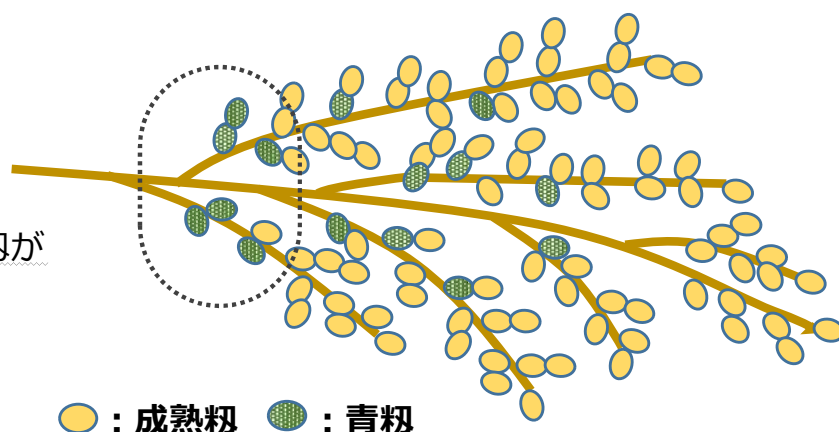
水稻早生品種の収穫適期

◎ 適期収穫で品質向上 刈り遅れに注意！

早植えの水稻は9月収穫適期を迎えます。
収穫が早くても遅くても品質低下、減収につながります。適期に収穫を行い品質の向上に努めましょう。また、刈り遅れによる胴割れ発生に注意しましょう。

◎ 水稻の収穫適期の判定

- ・ 収穫適期は籾の色で判断します。
- ・ 収穫の目安は青籾率20%。
- ・ 青籾率20%の目安としては、
下側2本の枝梗の根本から3粒程度に青籾が
残っている状態です。



● : 成熟籾 ● : 青籾

大豆の病害虫防除

今年は播種時期に晴天が続き、土壌の乾燥により、発芽率が低い傾向にあります。発芽した圃場も生育が平年に比べ遅れています。生育ステージをよく確認しながら管理をしましょう。

乾燥時の中耕培土は、さらに乾燥を助長します。圃場水分を見て実施の判断を行いましょう。

◎紫斑病とカメムシ類防除・・・2回防除必須！

カメムシと紫斑病は同時防除しましょう！

1回目：幼莢期（多くの莢が1cm程度、9月上～中旬）

2回目：1回目の10日から2週間後



↑大豆の幼莢期

紫斑病は種子伝染します。

自家採種せず種子更新を行いましょう。

【紫斑病とカメムシの防除】※1回目と2回目は異なる薬剤を使用しましょう

	薬剤名	RACコード	希釈倍率	10aあたり 散布液量	対象病 害虫	使用時期
1 回 目	アミスター20フロ アブル	11 (C3)	2,000～3,000倍	100～300L	紫斑病	収穫7日前 まで
			16～24倍	0.8L/10a		
	キラップフロアブ ル	2B	2,000倍	100～300L	カメム シ類	
			16倍	0.8L/10a		
2 回 目	ニマイバー水和剤	10 (B2) 1 (B2)	1,000～2,000倍	100～300L	紫斑病	収穫14日前 まで
			8～16倍	0.8L/10a		
	スタークル液剤10	4A	1,000倍	100～300L	カメム シ類	収穫7日前 まで
			8倍	0.8L/10a		

青線は無人航空機を使用した際の散布量です

◎ハスモンヨトウの防除…白変葉が防除の目印

ハスモンヨトウは大きくなると薬剤が効きにくくなるため、若齢幼虫期の薬剤防除が重要です。

日中は下葉の陰や土中に潜み、夜活動します。

薬剤防除は夕方に、葉の両面にかかるよう散布してください！

ハスモンヨトウの食害による
ダイズの白変葉↓



若齢幼虫のついた白変葉は
圃場から取り除きましょう

県内の一部地域では、例年の3倍以上の発生が見られます。晴天が続き、今年も増加傾向になることが予想されます。見かけたら防除を徹底しましょう。

【ハスモンヨトウの防除薬剤】

使用薬剤	IRACコード	希釈倍率	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法
ブロフレアSC	30	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布
		16～32倍	0.8～1.6L/10a	収穫前日まで	3回以内	無人航空機による散布
ベネビアOD	28	2000～4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
		32倍	0.8～2.4L/10a	収穫7日前まで	3回以内	無人航空機による散布
グレースシア乳剤	30	2000～3000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布

同じコード農薬の連続使用を避けるようにしましょう

・IRACコードとは
農薬の作用機構（効き方）を分類したコードです。IRACコードが同じ農薬を連用すると害虫が抵抗性を獲得しやすくなり効果が低下します。

熱中症対策

◎ 7月から9月は「夏の熱中症等対策声かけ期間」

農業は1人作業が多く、熱中症になった際に症状を自覚できず、重篤化する傾向にあります。また、高温の日は疲れ等により、高所から転落する等の事故が起きやすいので注意が必要です。周りの人がお互いに気を配り、声をかけあいましょう！

熱中症対策について農林水産省のホームページに掲載されています。

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/nechu.html



農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

★ 登録方法 ★

配信受付（スマート申請システム）

<https://ttzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/nougyouzyouhou>

上記のアドレスまたはQRコードからアクセスし、メールアドレス等の必要事項を入力してください。後日、農業情報をメール配信します。



お問い合わせ先：大分県中部振興局 地域営農・水田活用班 電話 097-506-5791
ホームページ：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html